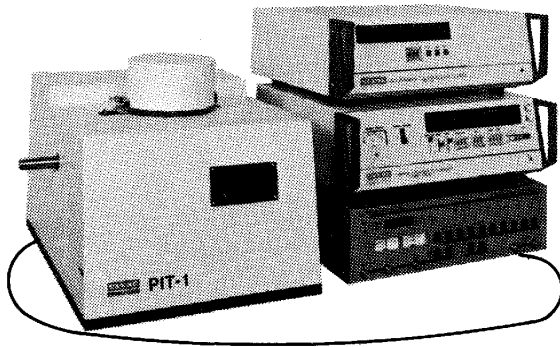


新しい原理の熱測定装置を必要としています

“軽薄短小”時代の新材の開発、評価は

フィルム状試料  
ダイヤモンド膜  
コーティング層の  
伝熱特性の評価に



PIT-1は、ACカロリメトリの原理を応用した世界で初めての装置で、3~300 $\mu$ mの薄い材料の面方向(厚みに垂直)の熱拡散率が測定できます。測定に要する時間も短く、測定値は直ちにデジタル表示されます。オプションの比熱測定用アタッチメントの付加により比熱、熱伝導率の測定もできます。

用途

- 金属・アモーフラス金属・半導体材料・セラミックス・高分子フィルム
- 基板上のダイヤモンド膜・カーボン膜
- コーティングによる伝熱特性の改善、コーティング材の開発・評価・欠陥検査

仕様

- 試料寸法：10×4×厚0.3mm以下
- 測定温度：室温~500°C

光照射形熱拡散率計

PIT-1

LIX-1は、レーザ干渉縞方式の熱膨張計で、膨張率の絶対値測定ができます。従来の干渉法熱膨張計と異なり、柱状試料1個ですみ、しかも何らの精密機械加工を要しません。膨張率の精密測定や熱膨張率測定用標準原器に最適です。

用途

- 低膨張材料—アンバー合金・カーボン・低膨張ガラス・セラミックスなど
- GaAsなどの化合物半導体・混晶化合物
- ガラス・封止用材料・バイメタル・精密電子機器材料など熱膨張特性が特に問題となる材料の品質管理

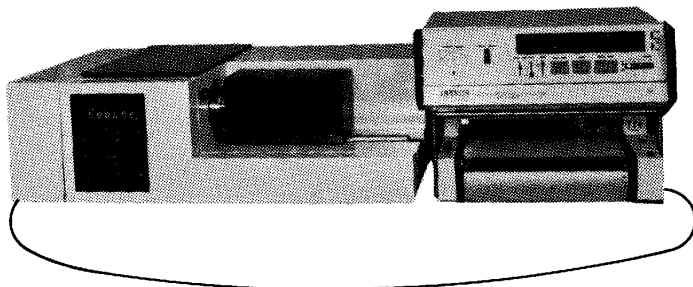
仕様

- 試料寸法：外径6mm以下  
長10~15mm
- 長さ変化測定分解能：80nm
- 測定温度：室温~700°C

レーザ熱膨張計

LIX-1

低膨張合金  
ガラス、カーボンの  
熱膨張率の  
絶対測定に



ULVAC SINKU-RIKO  
真空理工株式会社

本社・工場 / 〒226 横浜市緑区白山町300番地 ☎(045)931-2221(代)  
東京営業所 / 〒104 東京都中央区銀座1-14-4(藤平ビル3F) ☎(03)564-0535(代)  
大阪営業所 / 〒530 大阪市北区梅田1-11-4-2100(大阪駅前第4ビル)  
☎(06)344-0325(代)

昭和二十三年十月十一日  
昭和六十年三月二十五日  
印刷納本(毎月一回) 編集兼発行人 東京千代田区大手町一丁目九番四号  
印刷人 東京千代田区橋区熊野町十三十一 倉木 沢下 直 則亨  
発行所 東京千代田区大手町一丁目九番四号  
電話 東京三(二七九)六〇二番  
振替 東京三(二七九)六〇二番  
郵便 東京三(二七九)六〇二番  
社団法人 日本鉄鋼協会  
定価 二五〇円  
送料 別  
会費を含む  
送料は